

《教育図書・資料紹介》

教育センター発行

生徒指導・教育相談資料4

「先生はカウンセラー」 —不登校児童生徒への指導援助の手引—

教育相談部

近年、福島県においても、不登校の児童生徒が急増しています。そうした子どもたちへ、どのように対応したらいいのか、と悩んでいる先生方も多いと思われます。そこで、こうした実情を踏まえ、この度、教育センターで発刊することになったのがこの冊子です。先生方の指導に役立つよう内容を工夫し、1冊にまとめました。

不登校の子どもへの対応は、小・中・高等学校のすべてにまたがる大きな課題です。この冊子では、校種にかかわらず活用していただけるように配慮し、特に実際の指導援助のあり方に重点を置いて編集してあります。また、指導援助の基本的な考え方を簡潔に示すとともに、先生方が、不登校の子どもへどのように対応したらいいのか、実践に役に立つ内容を、分かりやすい表現で説明することを心がけました。参考までに、内容の一部を右に紹介します。

この冊子を、多くの先生方に活用していただき、不登校の子どもたちへの温かい指導援助につながれば幸いです。

本冊子をご希望の方は、福島県教育センターまでご連絡ください。

I 不登校に関する基礎知識

不登校の子どもを理解するために、「分類とタイプ分け」「段階と各期の援助のあり方」を示し、指導援助にあたっての基本的な心構えについてまとめてあります。

II 相談面接のすすめ方

不登校の子どもとの面接をどのように進めていけばいいのかを、カウンセリングの基本的な技法の説明を中心にして、述べてあります。実際に子どもとの面接において活用していただきたいところです。

III 指導援助の実際

「ラポールの形成」とともに、指導援助を「本人」「家庭」「学級」の3つに大きく分け、どのような指導援助を行っていけばいいのかを、具体的に示すように心がけました。また「指導援助の体制」についても、まとめてあります。

IV 不登校Q&A

先生方がお困りになると思われる点について、「学校訪問の仕方は?」や「無気力で登校しない子どもへの対応は?」などの17の項目を掲げ、その場合の考え方や対応の仕方を簡潔に示してあります。